

## 凡 例

- ① かるたには五十番の曲目の順番を示す記載はない。収録にあたっては、研究の便宜を優先して五十音順にした。かるたの図像は、左に漢字札、右に仮名札を配した。
- ② 表記の一行目には、左より、漢字札の曲名、現行曲名、分類名を記した。現行曲名では現在の大蔵流の表記を用い、和泉流で異なる場合は\*印で注記した。分類名は『能楽大事典』（筑摩書房）、『能・狂言事典』（平凡社）を参考にした。必要と思える言葉には振り仮名を付した。
- ③ 表記の二行目には、左より、漢字札の曲名、描かれた登場人物、仮名札の曲名、描かれた登場人物を記した。登場人物名は現行の大蔵流のものを用い、和泉流で異なる場合は\*印で注記した。必要と考える言葉には振り仮名を付した。描かれた登場人物が複数の場合は、手前から奥の順番で記した。
- ④ 表記の三行目に\*印で注記を加えた。誤記、誤解がある場合もここで指摘した。